

- 進行・再発
 初発
 大量化学療法
- 術後補助化学療法
 再発・再燃・難治
 局所療法
- 術前補助化学療法
 寛解導入
 その他()
- 維持療法
 地固め

投与順	抗癌剤名(商品名・略号)	1日投与量	投与法	投与時間	投与日(d1, d8等)
1	ペムブロリズマブ (キイトルーダ)	200mg/body(3w) 400mg/body(6w)	div	30分	3w:d1 6w:d1
2	ゲムシタビン (GEM)	1000mg/m ²	div	30分	3w:d1,d8 6w:d1,8,22,29
3	カルボプラチン (CBDCA)	AUC2	div	60分	3w:d1,d8 6w:d1,8,22,29

1コース期間(次コースまでの標準期間)	3週(または6週)
総コース数	・PDまたは副作用が許容できなくなるまで
コース間での休薬の規定	白血球数<2000mm ³ 、血小板<7万、末梢神経障害>G2

減量規定・中止基準	ペムブロリズマブ: 重篤なirAE出現時(間質性肺炎、1型糖尿病・糖尿病性ケトアシドーシスなど) GEM・CBDCA: G3以上の血液毒性、アナフィラキシーショック
投与量の増量規定	なし
投与期間の短縮規定	なし
コースによる変化	なし
1日の中での抗癌剤投与順	ペムブロリズマブ→ゲムシタビン→カルボプラチン
プレ Medikation・ポスト Medikation	プレ Medikation: グラニセトロン1mg、デキサート6.6mg(day2以降のデカドロンは患者に応じて処方)

※CTCAE v5.0

患者条件

- PD-L1陽性(CPS≥10,22C3 pharmDX[ダコ])のホルモン受容体陰性かつHER2陰性の手術不能または再発乳癌(2021.11.18時点)
- PS 0~2
- 主要臓器に大きな異常がない

除外規定

- PS3以上
- 本剤の成分に対し重篤な過敏症の既往がある患者

実施上の注意点

- 自己免疫疾患のある患者

その他(特記事項)

- ペムブロリズマブ投与時はインラインフィルター(0.2~5μm)を使用する事。